

- 総合科学技術会議では、次年度に重点的に取り組むべき事項等をまとめた「科学技術に関する予算等の資源配分の方針」を決定。

◎ 内閣府設置法第26条第1項第2号及び同項第4号(総合科学技術会議の所掌事務)に基づき実施

第26条第1項第2号 内閣総理大臣又は関係各大臣の諮問に応じて科学技術に関する予算、人材その他の科学技術の振興に必要な資源の配分の方針その他科学技術の振興に関する重要事項について調査審議すること。

第26条第1項第4号 第1号に規定する基本的な政策及び第2号に規定する重要事項に関し、それぞれ当該各号に規定する大臣に意見を述べること。

- 各府省の科学技術関係施策がこの方針に沿ったものとなるよう、総合科学技術会議の有識者議員が各府省から施策内容をヒアリングし、施策に係る優先度判定等を実施。
- その結果が予算編成において活用され、科学技術関係予算の充実が図られるよう意見具申を行っている。

平成22年度の科学技術に関する予算等の資源配分の方針(案)の概要

鳩山内閣の「基本方針」
(平成21年9月16日)

平成22年度予算編成の方針について
(平成21年9月29日閣議決定)

国連気候変動サミットにおける鳩山総理演説
(平成21年9月22日)

資源配分方針等の見直し
【グリーンイノベーションへの重点化】

①基礎研究、②科学技術振興の基盤、③人材育成等
を強化する方針を改めて堅持

新たな資源配分方針(案)

◎ 最重要政策課題:経済と環境が両立する社会を目指すグリーンイノベーションの推進

一 「全ての主要国による意欲的な削減目標の合意を前提として、温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減する」目標の達成を目指し、革新的な環境・エネルギー技術で世界をリード。あわせて研究開発成果の実利用・普及を強力に推進するための社会システムの転換を図り、「グリーンイノベーション」を推進

- ① エネルギー効率の高い技術の世界的普及の促進
- ② 太陽電池等の革新的技術の更なる加速
- ③ 新たな科学的・技術的知見の「発掘」と「統合」によるブレークスルー技術の研究開発

◎ 重点的に推進すべき課題

一 内閣の「基本方針」である「人の命を大切に」、「活力ある農山漁村の再生」、「医療・介護・環境など新たな分野における産業と雇用の創出による内需主導型の経済成長の実現」、「世界の平和と繁栄を実現」の課題解決に向けた科学技術施策を重点的に推進

- ① 健康長寿社会の実現
- ② 地域科学技術施策の推進
- ③ 社会還元加速プロジェクトの推進
- ④ 革新的技術の推進
- ⑤ 科学技術外交の推進

◎ 最重要政策課題や重点的に推進すべき課題のための基盤的課題

- ① 基礎研究の強化
- ② 人材育成の強化
- ③ 知的財産への対応の強化

資源配分方針に基づくメリハリのある優先度判定等の実施・意見具申

我が国経済の中長期的な発展と国民生活の向上

国民の期待に応える科学技術予算